

会 議 録

会 議 名	第2回 嵐山町総合振興計画審議会 及び 第2回 嵐山町総合戦略策定委員会					
開 催 日 時	令和7年11月19日（水）			開 会	13時30分	
				閉 会	15時15分	
開 催 場 所	嵐山町役場 町民ホール					
会 議 次 第	1 開 会 2 総合振興計画審議会及び総合戦略策定委員会委員の委嘱 3 あいさつ 4 議事録の署名人の指定 5 <第1部>嵐山町総合振興計画審議会 議 事 (1) 総合振興計画 改定版（案）について (2) その他 6 <第2部>嵐山町総合戦略策定委員会 議 事 (1) 総合戦略策定（案）について (2) その他 7 パブリックコメントについて 8 その他 9 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		0人	
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	嶋田 淨	出席	副会長	高坂 英夫	出席
	委 員	安藤 康正	出席	委 員	杉田 哲	出席
	委 員	安藤淳之介	欠席	委 員	笠谷 芳子	出席
	委 員	佐藤 和行	出席	委 員	後藤 英之	出席
	委 員	小山田建太	欠席	委 員	田中 恵子	出席
	委 員	金子 和生	欠席	委 員	飛田 聡保	出席

	委 員	牛久保菜々子	出席	委 員	奥田 貴哉	欠席
	委 員	関根 盛敏	欠席	委 員	米持 裕也	出席
	委 員	持田 知子	出席	委 員	平野 早恵	出席
	委 員	武城 文明	欠席			
事 務 局 (地域支援課)	安藤課長			片岡副課長		
	宮島主事					

次 第	顛 末
1 開 会	安藤地域支援課長
2 委員の委嘱	今回から交代となった委員の机上配布による委嘱状交付
3 あいさつ	<p>(高坂副会長)</p> <p>・皆様お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。総合振興計画等素案の審議という事で慎重審議をお願いし、そしてスムーズに進みますようお願いいたします。</p>
4 議事録の署名人	・事務局より、今回会議録署名人については平野早恵委員、持田知子委員にお願いしたい旨を説明。了承された。
5 議 事 (1) 総合振興計画改定版(案)について	<p><第1部>嵐山町総合振興計画審議会</p> <p>・嶋田会長が議長となり、議事進行を行う。</p> <p>今回の改訂版(案)及び(資料2)追加修正資料、(資料4)委員意見回答資料を基に前回会議からの修正、追加点を説明。</p> <p>■第2章 まちの将来像</p> <p>第3章 重点プロジェクト</p> <p>第4章 基本施策</p> <p>第1節 協同のまちづくり</p> <p>第2節 ひとを育み、学びを楽しむまちづくり</p> <p>第3節 健康で互いに支えあうまちづくり</p> <p>第4節 自然とともに生きるまちづくり</p> <p>第5節 安全・安心で活力あるまちづくり</p> <p>第6節 推進方策</p> <p>・事務局より、上記の追加・修正について説明。また、委員からの前回会議での意見及び事前質問について回答。</p> <p>(嶋田会長)</p> <p>・前回会議で委員から小川町の広域適応指導教室への車移動を伴わないで済むように町内で整備した方が良いという意見への回答が違っていないか。</p> <p>(事務局)</p> <p>・令和6年度から校内教育支援センター(SSR)の設置を推進しているので、こちらへの利用・相談を推進していくとの事です。</p> <p>(牛久保委員)</p> <p>・P106の目指す指標の中の新規就農者数の令和12年度目標</p>

<p>(2) その他</p>	<p>値が前回の改定案では7人となっていたものが、今回の改定案では2人となっているようだ。</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認し修正いたします。 <p>(佐藤委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回修正でユニバーサルスポーツの箇所をインクルーシブスポーツに改めているが、P54の施策の内容の3)の箇所に記載の部分も修正した方が良いのではないかと。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認し修正いたします。 <p>(安藤委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回会議に参加していないので後戻りでの意見となってしまうが、P61基本的な方針での「埼玉県地域保健医療計画」に基づき、各種医療機関・保健所・近隣市町村と連携し、地域医療体制の充実に努めます」とあるが、住民意識調査の第1位で医療体制の充実が求められている。医療モールや診療所の集合体などを誘致するための検討を行うとか、それくらい踏み込んだ方が良いのではないかと。また、2年前にため池農法が農業遺産に認定されている。この事をP106の施策の内容のところで強くアピールし、町の活性化につなげるとかを記載してはどうか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課と検討したいと思います。 <p>(田中委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2点お願いします。第3章重点プロジェクトにP24で1.子どものびのび成長プロジェクトがある。嵐山町には県下で殆ど無くなっている貴重な町立幼稚園がある。町が大事に実施している幼稚園教育をどこかに絡ませられないかと。また、P98の施策の内容4)で「業種や地域に囚われない様々な団体と協定を結び、発災時における生活環境の向上に努めます」とあるが、もう少し具体的に有事への対応を入れていただければ良いと思う。 <p>(嶋田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の所を書いてあれば別だが、生活環境の向上ではわかりづらい。もう少し具体的に非常食の用意や避難場所など明確に書いてあれば良い。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認させていただきます。 <p>■その他 なし</p>
----------------	--

	<p><休憩></p>
<p>6 議 事</p> <p>(1) 総合戦略策定 (案) について</p>	<p><第2部> 嵐山町総合戦略策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き嶋田会長が議事進行を行う。 <p>今回の改訂版(案)及び(資料3)追加修正資料、(資料4)委員意見回答資料を基に前回会議からの修正、追加点を説明。</p> <p>■ 1. 嵐山町デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定にあたって</p> <p>3. 嵐山町デジタル田園都市国家構想総合戦略</p> <p>基本目標1 雇用をつくる</p> <p>基本目標2 人の流れをつくる</p> <p>基本目標3 安心して結婚・出産・子育てができる社会をつくる</p> <p>基本目標4 住みよい環境をつくる</p> <p>基本目標5 デジタルの力を活用したまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、上記の追加・修正について説明。また、委員からの前回会議での意見及び事前質問について回答。 <p>(嶋田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料4委員意見回答資料の1番の回答では現状の農業の担い手に農地を集約していくとあるが、担い手は減っていると思っていて新たに企業誘致などが必要と思う。この回答のように審議会の意見が取り入れられないのかと疑問が残る。 <p>(杉田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の新規参入者は良いところを伝えリスクを伝えていないテレビ等を見て来ている。十数人見てきたが残っている人は2人ほどでありなかなか定住しない。資本のある企業が参入してくれた方が効果は上がると思う。 <p>(飛田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農において水稻では田植え機やコンバイン等で初期投資が何千万円もかかる。農業を中心とした産業の推進とあるが野菜なのか水稻なのか。また、6次産業産業商品の販売の関係の記載もあるが、何を特産としてやっていくか。もう少し具体的な表現が無いと絵に描いた餅に終わってしまわないか気にかかる。嵐山営農で明日の農業担い手育成塾という圃場を新規就農者に分けて就農させる事業を県とタイアップで実施しているがこれを記載してはどうか。 <p>(事務局)</p>

・確認してみます。企業参入では以前にスーパー等から相談があり、ある程度話がまとまっていたが、町の支援内容により他に進出してしまったケースがあった。

(杉田委員)

・スマート農業をやっているのは資本を持っている企業であるから盛り込むべきと考える。新規就農者は有機農法の第一人者がいた隣の小川町に行ってしまう、嵐山町は観光栽培が中心となっている。

(高坂委員)

・6次産業の話が出ているが、これは難しい。莫大な労力や投資が必要である。

(事務局)

・内容を確認させていただきます。

(佐藤委員)

・P5の基本的方向で町の「特色を生かし付加価値の高い農産物」とあるが、先の話に出ている付加価値の高い物としてシャインマスカットの話が出ているが町の特色を生かされているものなのか。嵐山町周辺は谷津があり狭い農地しか取れないような地域と考える。

(事務局)

・嵐山町の農業の特色は昔に大養蚕地域だったこともあるので、果樹であり産地が近い都市型農業と考える。

(杉田委員)

・町では特色を出そうと昔から芋掘りやブルーベリーなど特産物を検討してきた。北部の耕作放棄地が多い斜面ではブルーベリー等果樹が適している。近隣市町では梅や梨や有機農業等特色ある農作物があるが、嵐山町では試行錯誤しているが見つからない。しかしこれからは果樹が良いと考える。

(飛田委員)

・委員意見回答の3番で「ICT教育について、フィンランド等のICT教育先進国では、紙とペンでの授業に戻ってきている。町も無理にICT化する必要はないのでは」とあるが、私は滑川町の教育委員を努めており、その会議資料の中で全国学力調査でのタブレットの使用時間からのクロス集計をした調査結果があった。それにはタブレットの使用時間が少ないほど正答率が高い結果が出ている。基本目標2の施策の内容の「教育の充実と地域連携の推進」の二つ目で「子供が文房具のようにICT機器を使いこなせる授業展開の実施」とある。実際授業を見ているわけではないが、現

<p>(2) その他</p>	<p>状ではこのような事はハード面では出来ていてもソフト面で追い付いていないのではないかと思う。紙でやるところは紙で、タブレットでは変化を動画で見れる等視覚的な効果があるのでハイブリッド的な活用が良いと思う。文房具のように使いこなせるという表現で無い方が良いのではと思う。</p> <p>(田中委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私も ICT は効果的な場面で使うのが良いと思うのでその意見に賛同します。 <p>(高坂委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物を覚えるのに得手不得手があると思うが、見て覚える人、書いて覚える人、聞いて覚える人がいて能力に差が無いからどれが得意かで勉強に差が出てくる。昔の教育では書いて覚える人の成績が上がると聞いた事があり、一辺にこれに頼るのはどうかと思うのでこの意見に賛同する。 <p>(嶋田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの賛同があるので検討して欲しい。 <p>(飛田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標 3 の中で、結婚に関しては嵐山町だけで出来ることではない部分があると前回会議でもあったが、結婚妊娠というより子育ての支援を確実にして、嵐山町では子育てがしやすいという内容を表現した方が良いと思う。また、今回追加資料に記載の図書館での読み聞かせ等追加していただいたが、公民館事業や他でも行われているであろう〇〇教室や△△セミナー、パパママ教室や家庭教育アドバイザーが子育ての講和をしているとか主だったものを載せた方が子育て支援をしているという事が見える化されると思う。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点で言うとプレパパ教室などがあり、参加者も多い。男女共同参画審議会でもこういった数字を高めることを求められている。 <p>(嶋田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会でも会議の中でそのようなセミナーや講和があった方が良いという話になったと聞いている。 <p>(嶋田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他にご意見等なければ、今日でなくても気づいた事があれば事務局に伝えていただきたい。 <p>■その他</p> <p>なし</p>
----------------	---

7 パブリック コメントについて	・事務局より、パブリックコメントは12月19日から1月12日までの期間で実施を予定。実施までに今回審議会の内容で各課と調整し修正した素案を審議会委員に提示し、町長と副町長に説明をし、了解を得たうえでパブリックコメントを実施する。週明け早い時期を目途に追加意見等を頂く事。閲覧場所及び意見提出方法について説明。
8 その他	・今回会議の報酬等支払い、パブリックコメント対応、次回会議及び答申予定について
9 閉 会	高坂副会長
<p>上記会議の顚末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和7年11月27日 署名委員 <u>平野 早恵</u></p> <p>令和7年11月27日 署名委員 <u>持田 知子</u></p>	